



《こども版》 としょかんだより No. 315

2010年

10月号

わくわく本だな

富山市立図書館

今月のおすすめ



★ = 1・2年

★★ = 3・4年

★★★ = 5・6年

—あたらしうはいつた本の中から、おすすめの本をしようかいます—

「いいことがありました」 ★ もりやま みやこ／作 偕成社



友だちとけんかしたねずみの子が、むしゃくしゃしてどんぐりをけとばすと、くまのおじいさんにあたってしまいました。でも、それをきっかけにおじいさんとなかよくなります。ふたりのたのしいきもちは、ほかのみんなにもどんどんひろがっていきました。

「めいたんていポアロン めすまれたくびかざり」 ★★

三田村 信行／作 講談社



レストランのシェフをしているポアロンは、もとはたんていです。ある日、ブルトン^{けいぶ}警部が事件の相談にやってきました。大金持ちのお屋敷^{やしき}で、パーティの最中^{さいちゆう}に停電^{ていでん}になり、“女王の首かざり”がなくなったというのです。

「徳田^{とくだ}さんちはおばけの一家」 ★★★

ねじめ 正一／作 講談社



おばけ屋敷^{はたら}で働く徳田一家は、本物のおばけです。おばけ屋敷が閉館^{へいかん}して、犬と猫のための“わんにゃん天国”という施設^{しせつ}ができることになりました。次の職場^{つぎ}をさがして、一家は大あわて。そんな時、自殺^{じさつ}したおばあさんと病気で死んだ猫の幽霊^{ゆうれい}に出会います。

あたらしくはいった本

えほん

「めかくしおに」 もとした いづみ／作 ほるぷ出版



つきこは、じんじゃでふしぎなきつねのおめんをもらいました。おめんをつけて友だちと“めかくしおに”をするうち、しだいにまわりの声がおおくなっていきました。おめんをはずすと、そこにいたのは、なんとのおっぺらぼう！つきこは、もののけの国にまよいこんでしまったのです。

ものがたい



「なんかのケロくん」 ★ 山下 明生／作 のら書店

「なんか」が口ぐせのケロくん。ある日、“なんか”がほしくなり、ガムをふくらませながらさがしにいきます。とちゅうで、かまきりのおにいさんがもっていたつりざおと、ガムをこうかんすることにしました。

「ふしぎなヨットのかいぞくやまねこ」 ★ 齊藤 洋／作 小学館

うみねこをおよめさんにしようと、やまねこがうみにやってきました。ぐうぜんのったヨットにはかいぞくのふくやどうぐがありました。やまねこは、かいぞくになったつもりで、大きなタンカーにのりこみますが、そうじの手つだいをさせられてしまいます。



ことばであそぼう！

— 回文 —



回文って知っていますか？ 前からよんでも後ろからよんでも同じによめることばや文のことです。

『トマト』『しんぶんし』『イルカは軽い』『夜ニンジン 煮るよ』

長いものには、こんなのがありますよ。

『たった今トキいきいきと 舞いたった』 みんなも作ってみてね！



「みんなでグルグル回文あそび 黄の巻」(汐文社)

「世界のことばあそび ② 世界の早口ことば・数え歌・回文」(旺文社)より

ものがたり



「3にん4きゃく、イヌ1ぴき」★★

たから しげる／作 くもん出版

真由の家の犬“タイキ”に、不思議なことがおこりました。午後4時になるとパソコンの前にすわり、夢中で文章を打つのです。小説家がのりうつたらしく、毎日30分、10日間も続き、タイキはとうとう小説を書き上げました。

「『希望』という名の船にのって」★★★★

森下 一仁／作 ゴブリン書房



20XX年。地球に正体不明の病原体が広まり、逃れるために数十名の人々が巨大な船に乗って旅立ちました。船で生まれた12歳のヒロシは、船が新しい地球をめざしていると聞かされていました。ところが、船内を探検し、大人しか入れないところにこっそり入ったヒロシと弟は、窓の外が宇宙ではなく深い海の底だと知るのでした。

ちしきの本

「ひらめきの建築家 ガウディ」(えほん)

レイチェル・ロドリゲス／作 光村教育図書



スペインの建築家、アントニ・ガウディは、面白い建物や公園を作りました。自然の模様やうねるような曲線の形を取り入れたり、ガラスや陶器のかけらを使ったりして、とても独創的で、見る人が楽しくなるものばかりです。また、サグラダ・ファミリア教会は、ガウディが亡くなった後も、作り続けられている壮大な建物です。

「目で見ると体育がどんどん上達する本」

高畑 好秀／作 永岡書店

てつぼう、かけっこ、とび箱、なわとび、水泳、球技など、いろいろな体育の種目のやり方を、写真やイラストを使ってわかりやすく説明しています。うまくできるコツもついているので、にがてな人にも参考になりますよ。



名作をよもう!

今月の1さつ



「さっちゃんのまほうの手」 (えほん)

たばた せいいち／ほか作 借成社

さっちゃんの右手には生まれたときから指がありません。ようちえんのままごとあそびで、お母さん役をしたかったさっちゃん。でも、みんなから、「お母さんにはなれないよ。手のないお母さんはへんだもん。」と言われて、おもわず外にとびだしました。どうしてゆびがないの？小学生になったら、はえてくるの？おかあさんにはなれないの？さみしくてかなしいさっちゃんは、ようちえんにいかなくなってしまいました。

障害をもつさっちゃんの気持ちが、ていねいに描かれた絵本です。



とやまし あ・れ・こ・れ

スポレクとやま2010



10月16日(土)～19日(火)に全国スポーツ・レクリエーション祭が富山で開かれます。この行事は、誰でもいつでもどこでも、気軽にスポーツとレクリエーションを楽しみ、交流を深めることを目的としています。

富山県内で29種目、富山市内ではそのうちのゲートボールや年齢別テニスなど7種目が行われます。

ウォークラリーは、小学生でも参加できますよ。



【問い合わせ】 スポレク事務局 TEL432-7400



★ 秋の読書週間 ★

10月27日(水)～11月9日(火)

たくさん本を読んでね!



< 編集・発行 >

富山市立図書館

富山市丸の内1丁目4-50

電話 076-432-7273